

事務事業評価

令和 2 年度

担当課

しまばら観光おもてなし課

基本事項	事務事業名	島原めぐり事業				整理番号	1507			
	根拠法令等	島原市観光振興事業補助金交付要綱			実施を義務付ける規定	○あり ○なし				
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標3 賑わいと活力を興すまちづくり	予算科目	7 款 1 項 3 目	○継続 ○新規				
		施策	施策3-4 訪れてみたい、魅力のあるまち	事業区分	市民サービス事業					
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	本市を訪れる観光客は島原城に集中していますが、島原城をフックとして市内を周遊させる仕掛けがないため、滞在時間が短く地域にお金落ちにくいのが現状です。解決には“点”観光を“線”観光へ、更には“面”観光へ変えていく必要がある。				計画期間	始期	平成	30	年度から
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	【目的】 島原城や鯉の泳ぐまち等を中心とした島原ならではの風情やおもてなしを観光客に体験してもらうことにより、周遊型観光の推進・滞在時間の延長、観光消費額の増加を図ること。 また、東京オリンピック・パラリンピック、長崎新幹線、島原城築城400年を見据え、観光インフラの構築を積極的に行っていくものである。								
	目的達成のための 具体的手段・方法	①2次交通網、共通入場券、共通駐車券の構築(お得な回遊手段の整備) ②回遊エリア内にFreeWi-Fi網の構築 ③エリア内に仕掛けの基点でも使用する多言語案内板の配備 ④面観光(宿泊)の下準備で島原城を使った夜型商品の開発・販売する ⑤他との差別化に向けた簡易なVR又はARを組み込んだ多言語案内板にバージョンアップを行う ⑥構想一段階目のGOAL 島原ならではの街を挙げたおもてなし企画、地元参画者を増やしつつ他地域との差別化を進めていく。 清流亭・本丸売店内に新しく案内所機能を併設させ、既存の外港・島原駅を含めた4施設全てで外国人対応カテゴリー I or II の認定を取った案内所の配備、リアル対応力を街中にネットワーク化することで本事業との相乗効果の発揮を目指す								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	30 年度	1 年度	2 年度			
事業費等の推移	①直接事業費(千円)	区分	28 年度	29 年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度		
			実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画		
	財源内訳	国 県 支 出 金			9,042	5,684	10,000	10,000		
		地 方 債			3,616	2,273	4,000	4,000		
		そ の 他								
		一 般 財 源	0	0	5,426	3,411	6,000	6,000		
②従事職員給与費 b1×b2		0	0	230	226	227	227			
の	従事職員数(人) b1	0.00	0.00	0.03	0.03	0.03	0.03			
	職員平均人件費 b2	7,484	7,546	7,663	7,530	7,563	7,563			
	事業費合計 ① + ②	0	0	9,272	5,910	10,227	10,227			

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 体験型観光のニーズが高まる中、島原城を核とした島原ならではの雰囲気やおもてなしを体感してもらう事業として、観光入込客や入館者は増加している。	判定 A
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 現在、(株)島原観光ビューローで実施しているが、自主財源での運用(自走)に向けての収支構造の見直しを実施している	C
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 本市を訪れる観光入込客や島原城を訪れる観光客は増加傾向にあり、観光客の増加に寄与している	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか（成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成）	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 利用者ニーズに合った商品開発や島原城周辺や商店街への街中FreeWi-Fi化、スマホで使用できる多言語案内板を整備することで、利用者の増加につながっている。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある めぐりんバスを導入して市内周遊客の増加を図るとともに、体験型観光の素材として定着させると共に、周知を含めた情報発信が必要である。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか（活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成）	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 めぐりんバスの導入、島原城周辺や商店街、鯉の泳ぐまち周辺のWi-Fi整備、スマホを使った街中多言語案内板の設置することで、利用者等も増えており一定の効果は上がっている。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 費用対効果を検証するとともに、(株)島原観光ビューローと連携して取り組んでいるが、後々、単独の自主財源による運用を目指している。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 事業実施を通して、連携を図り改善できないことがないか検証し、協議・検討を行う。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 本事業に集客は島原城や清流亭、四明荘等の収益につながることから、今後、(株)島原観光ビューローの自主財源による運用(事業実施)を検討すべきと思われる。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか		A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	
判定評点平均（3点満点）			2.44
A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			

◎ 総合自己評価（所管部署）		判断理由
評価	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	めぐりんバス導入、島原城周辺や市内4商店街、鯉の泳ぐまち周辺へのWi-Fi環境の整備、観光施設や商店街への多言語案内板の設置、ヴァーチャル観光ができるVRゴーグルの設置などを行うことで、市内周遊客の増加を図っており、各施設への来客の増加が見込まれるため、観光客の誘客及び滞在時間の延長に向けての情報発信等に努める。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 今後、(株)島原観光ビューローの自主財源による運用(事業実施)を検討すべきと思われるが、事業内容の改善や検討を行っていく。観光客の滞在時間の延長の手段として、新たな周遊ルートの作成や情報発信などに努める。	
<small>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。</small>		

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	本事業は、成果指標結果からも周遊型観光にとって有効な取組である。今後は、更なる事業内容の見直しに加え、実施主体である島原観光ビューローの自主財源での運用(自走)に向けた収支構造の見直しについても検討してほしい。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減 -1,500 (千円)
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	